

まだどこにもない、
理想の製品を私たちと一緒に
MAKE with
TOYOShutter

東洋シャッター株式会社
生産製品本部 技術部 副部長
兼 第2技術課長

諸留 充

軽くて、使いやすくて、窓の大きな防音ドア。
音楽専攻担当の川見様からのご要望に
応えられたのは、独自のデータ蓄積と
ノウハウがあったからです。



—— 川見様のご要望に対する率直な感想をお聞かせください。

まず思ったのは、ついにこういう要望が来たんだということです。レバーハンドルの防音ドアTSレバータイトを商品化し、バリエーションも充実させてきましたが、ここ数年はコンプライアンスの関係もあって、窓付きが好まれる傾向にありました。ただ、窓は大きなものではなくて、あくまでも遮音性重視でした。そういう商品は問題なくできていましたが、実際お話をいただいたときに私たちには、大きな窓のご要望を満たす商品がまだありませんでした。

—— 東洋シャッターだけが「できる」と回答したそうですが。

正確には『できるかも』だったと思います。TSレバータイトの窓付バリエーション開発時にじつは、窓のサイズやガラス違いなど、さまざまことを試していました。そのデータが社内にノウハウとして残っていて、データを組み合わせながらの検討が可能でした。それでも試験などはしていませんので、『できます』とは言い切れません。まだまだ窓はメインではなくて、今回のような大きな窓まで一気に行く認識はありませんし、商品を出そうとは考えていませんでした。

—— 開発において苦労したことはありましたか。

たとえば同じ遮音等級T-3の窓ドアを足せば、遮音等級T-3の窓付ドアになるというほど単純ではありません。ガラスやドア、気密部分などそれぞれに弱点があり、弱点と弱点が重なる組み合わせでは遮音性が下がってしまいます。お互いの良いところを取り合える構造にしていくのに苦労するのですが今回は、過去の試験で得たノウハウがありました。それで、うまくいったというわけです。

—— 「この短期間でここまでできるのか」と川見様は驚いておられましたが、実際、厳しい開発でしたか。

時間的には厳しい方だったと思います。今回はトライ＆エラーを繰り返せる時間がなくて、もうトライ、トライで行こうという雰囲気でした。ただ、川見様のご要望が明確で、TSレバータイトに大きな窓を付けてほしいという点。そこさえ守れば、

私たちの思う通りにさせていただけたという非常に協力的なスタンスでいらっしゃったので、進めやすかったというのは大いにあります。それでもやはり、日程的にはギリギリだったと思います。

—— 最後に、東洋シャッターが取り組み始めている、お客様と一緒につくる「MAKE with」について、技術の立場からどう思われますか。

つくる人間からすると両面あります。良い面はありそうで案外ない、お客様の声をうかがえる機会が得られること。一方、ご要望にお応えできそうにないときに感じるストレスが悪い面でしょうか。技術としてはやはり、実現したいというのがまず先に立ちますので、叶わなければ申し訳ないの思いしかありません。

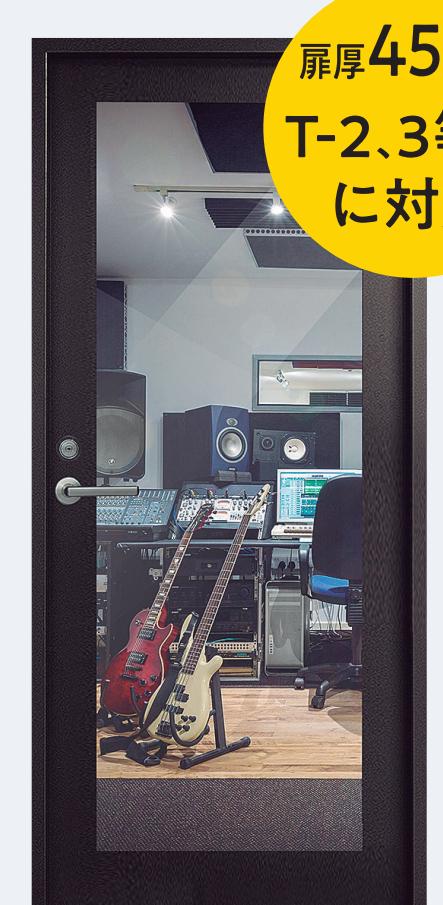
今回、川見様の建物のコンセプトや実際の写真などを拝見させていただき、ドアだけをつくっているとわからない開放感や一体感がリアルに感じられ、「なるほど、これはいいな」と心から思いました。それは、一緒につくれさせていただいたからこそ感動ですし、私たちにとって忘れられない「MAKE with」になりました。

インタビューのフルバージョンは【MAKE with スペシャルサイト】で公開中です。

TSレバータイト レバータイプ防音ドア



扉厚45mmで
T-2,3等級
に対応



遮音しながら、室内が見える安心

TSレバータイトに防災・防犯、見守りに安心の框窓付フラットタイプが登場。グレモンとは違う、ロック不要のレバーハンドルに加え、大きな窓で遮音等級T-2、3を実現。もちろん、框窓付以外のラインナップも充実のTSレバータイト。遮音等級T-2～T-6相当の四方タイトやフラットタイプ、片開き、両開き、窓付、軽量タイプを用途に応じて選べます。

みなさまと一緒につくる、東洋シャッターの“MAKE with”に、どうぞご期待ください

TOYOShutter

東洋シャッター株式会社

本 社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-3-2 南船場ハートビル12F TEL.06(4705)2110
東京本社 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 日本橋Kビル6F TEL.03(3639)0551
<https://www.toyo-shutter.co.jp>



普段どおり閉めるだけで高性能を発揮する【アクションフリー】製品が掲載された、
東洋シャッター MAKE with スペシャルサイト (<https://www.toyo-makewith.com/develop.html>) は、右記からご覧ください。